

2022年 2月16日

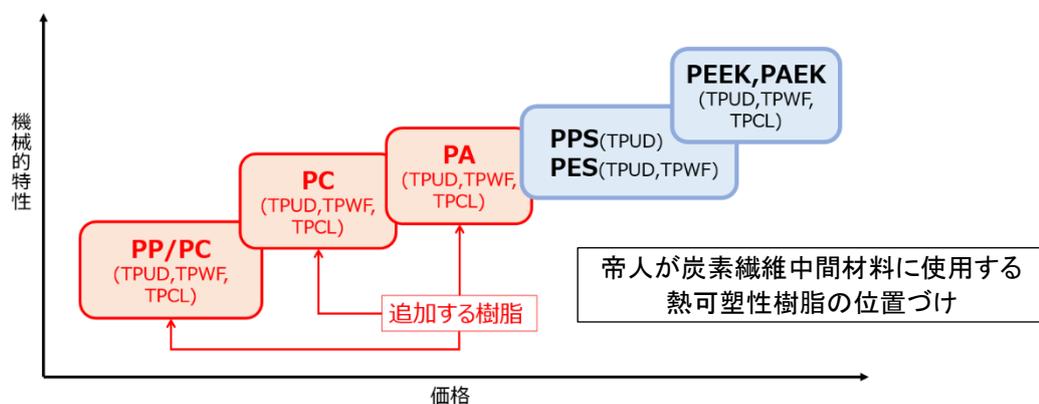
熱可塑性プリプレグの製品ラインアップを拡充

帝人株式会社は、熱可塑性樹脂を用いた量産性に優れる炭素繊維プリプレグの展開を拡大しています。その一環として、このたび既存の炭素繊維中間材料製品に、新たに3種類の熱可塑性樹脂を使用した新製品を開発しました。これにより、熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維プリプレグの製品ラインアップが大幅に拡充されることとなります。

このたびラインアップに加わるのは、新たな母材としてポリプロピレン／ポリカーボネート（PP/PC）、ポリカーボネート（PC）、ポリアミド（PA）の3種類の熱可塑性樹脂を使用した、熱可塑性一方向性プリプレグ「テナックス TPUD」（ThermoPlastic UniDirectional）、熱可塑性複合材料織布「テナックス TPWF」（ThermoPlastic Woven Fabric）、熱可塑性樹脂積層板「テナックス TPCL」（ThermoPlastic Consolidated Laminate）の新製品です。

当社が既に市場展開している炭素繊維プリプレグには、ポリエーテルエーテルケトン（PEEK）樹脂、ポリアリールエーテルケトン（PAEK）樹脂、ポリフェニレンサルファイド（PPS）樹脂、ポリエーテルサルフォン（PES）樹脂を使用していますが、このたび新たに加わる炭素繊維プリプレグの新製品は、既存製品に比べてより低い温度、より短時間での成形が可能であることから、より低コストでの生産が可能となります。これにより、材料コストや成形時間への要求が厳しい自動車、スポーツ、精密機器などの用途をはじめ、幅広い産業に向けて展開することができます。

帝人は、幅広い顧客ニーズへの対応力を強化するため、さまざまな炭素繊維中間材料の製品提供とともに、持続可能な社会の実現に向けたソリューション提供を強化し、長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」を目指していきます。



以上